



和歌山保育會の成立と活動

中 村 楠 雄

(一)

本會は大正十四年七月十五日に成立致しました。随分古い幼稚園もあるのですが、何分幼稚園の數も少なかつた爲めに今まで其のまゝになつてゐたのであります。けれども此頃幼稚園の數も増して來ましたし其の上托兒所も四ヶ所出來たと云ふ具合に幼兒の保育に従事する者の數もずつとふへたので遂に本會の成立を見るに至つたのであります。こうした團體の力によつて相互に益しあひ、研

究の便宜や發表の機會を得且つ幼兒教育運動の爲めに盡したいと考へた居ります。

尙托兒所の方々も加はつてゐる事ははからずも文部省あたりの意見と合致（幼稚園令制定の趣旨などを見て）してゐた事を知つて愉快に思つてゐる次第であります。

(二)

六月八日發起人會を開きました。そして設立に關する各種の相談並びに會則原案等を作りました。

其の後會員募集につとめました。托兒所全部、聖救主幼稚園、鷺の森幼稚園、新町幼稚園、和歌山幼稚園等も残らず賛成加入を致しました。

七月十三日に幼稚園及托兒所の主任者全部聖救主幼稚園に集合して發會式に關する諸般の打合せを行ひました。

七月十五日午後一時より愈々發會式を舉行致しましたが當日の主なる來賓は左の通りであります。

縣視學 森 慶 三氏

市學務課長 水田敏太郎氏

市社會課長 米田徳兵衛氏

攻玉協會長 森 財氏

宇治小學長 阪 田 將 六氏

大阪毎日新聞記者

大阪朝日新聞記者

和歌山幼稚園保護者同志會幹事 三 名

尙又當日の發會式の様子は左の通りであります。

た。

來賓及會員の入場がありまして一同直ちに「君が代」を合唱致しました。ついで新町幼稚園の越路氏の動議でまづ座長推薦を行ひました所不肖私が選ばれました。それから座長司會の下に第一着に會長の推薦を行ひましたが萬場一致市學務課長水田敏太郎氏が推舉されました。そして水田氏は一同の拍手裏に登壇されて承諾を兼ねて御挨拶がありました。(當日は以上の様な便宜の方法によつた)これからは全く水田氏議長となられて會則の審議、役員の推薦選舉等の事を決行せられました。愈々會則も議定され役員も決定してここに全く和歌山保育會なるものが生れたのであります。

ついで縣視學森慶三氏社會課長米田徳兵衛氏等の祝辭があり更らに水田會長の挨拶があつて無事閉會となりました。

それから席を改めて茶菓を出し來賓會員とも打

ちつくりいで幼児教育談に花を咲かせ夕割散會至
しました。

(三)

和歌山市保育會規則

第一條 本會は保育事業の發展と研究を以て目的

とす

第二條 本會は和歌山市保育會と稱し事務所を和

歌山幼稚園に置く

第三條 本會事業の概要左の如し

一、總集會 毎年一回之を開き事業並に
會計報告等をなす

一、研究會 毎年數回保育に關する實際
並に學理の研究を爲す

一、講演會 幼児教育に關する講演會を
開く

一、講習會 幼児教育に關する事項の講

習をなす

一、右の他本會の目的を達する爲め必要
と認る事業

第四條

本會に左の役員を置く

總裁 一名

會長 一名

副會長 一名

幹事 五名

評議員 若干名

顧問 若干名

第五條

總裁は本會を總督し會長は本會を統括し

會議の際議長となり副會長は會長事故ある

場合に之れが代理をなす幹事は會長の命を

受け本會の事務に當り評議員は本會員に代

りて本會事業を議決す顧問は本會事業に關

し専門的援助をなすものとす

第六條

總裁、會長、副會長は總會に於て幹事及

顧問は會長之を委囑し評議員は會員の互選によ選りて之を選擧す

幹事及評議員の任期は二ケ年とす

第七條 本會員を分ちて普通會員、特別會員、名譽會員とす

一、普通會員は當市内に於て保育事業に従事する職員にして月額金貳拾錢を納むるものとす

一、特別會員は本會の趣旨に賛同したるものにして年額金參圓以上を納むるものとす

但し分納を妨げず

一、名譽會員は本會に功勞ある人にして本會評議員會に於て推薦したるものとす

第八條 本會の經員の會費並に寄附金を以て之に

充つ

第九條 本會に入會、退會、及會員にして住所氏

名の異動ある場合は幹事を経て届出づべし

第十條 本會は全國保育會に聲合す

第十一條 本會規則は總會議決を経るにあらざれば之を變更することを得ず

和歌山市保育會

入會申込書

貴會の趣旨に賛同し入會申候也

住所
職業

大正 年 月 日

和歌山市保育會御中

(四)

和歌山市保育會役員

總裁	和歌山市長	男爵	紀俊秀
會長	市學務課長		水田敏太郎
副會長	和歌山幼稚園長		中村楠雄
幹事	新町幼稚園		越路節
	聖救主幼稚園		大鳥居富喜
	鷺の森幼稚園		里見とも子
	第四幼兒預所		堅谷タメイ
	第一幼兒預所		明珍春枝
評議員	和歌山幼稚園		的場光惠
	新町幼稚園		小山初枝
	鷺の森幼稚園		小竹安子
	第二幼兒預所		川崎ヒサエ
	第三幼兒預所		岡本ハナ
顧問	和歌山縣學務課長		

(前任者轉任
後任へ交渉中)

四八

和歌山縣視學	森慶三
市社會課長	米田徳兵衛
和歌山縣師範學校長	有元久五郎
和歌山縣師範學校 附屬小學校主事	中野八十八
和歌山縣立和歌山 高等女學校長	松扉得悟
和歌山市立實科 高等女學校長	須藤丑彦
和歌山市攻玉協會長	森財
和歌山幼稚園兒保護 者同志會長	中井喜代楠
新町幼稚園母姉會長	糸川婦美子
聖救主教會牧師	八木善三郎
鷺の森別院輪番	桑原賢亮

(五)

八月廿六日から三日間、久保富次郎氏を聘して
新遊戯講習會を開催致しました。會場として附屬
小學校の講堂を拜借しましたが出席會員二百數十

名もありましたので場所がせまくて練習に不都合を感じる位でありました。それでも會員の方には何らの苦情も申されず日々早朝から夕刻までそれはく熱心な練習振りでありました。それが爲めに最後の日には講師の先生をして和歌山の人は器用だとの聲をもらしめた程であります。

講習會狀況概要

第一日

- 1、會長開會の辭
- 2、久保講師挨拶
- 3、遊戯練習

金魚のひるね、 てるてる坊主

第二日

- 1、遊戯練習
青い空
- かもめ、雨、ボーフラおどり
- 春の風

第三日

- 1、遊戯練習
お星様、かへるつばめ
- 2、證書授與
夏のうぐひす
- 3、講習員總代謝辭
- 4、會長閉會の辭
- 5、久保講師挨拶
以上

十二月十九日全員和歌山幼稚園に集合し自分らの手で料理萬端準備し第一回の忘年會を催しました。

其の時來三學期に入つてから

□、和歌山高等小學校長 川村徳治氏を聘して支那視察報を聞くこと。

□、師範學校附屬小學校訓導 堀内喜一郎氏を聘して圖畫教育に關する講習を受けること。

□、振替口座に加入すること。

等を相談するとか、幼稚園令制定に對する感想を吐くとか生真面目な事もありましたが種々様々の隱藝が續出して和氣霽々たることに面白いよい集りでありました。

あと片附も全部すんで皆歸つて行つたのは最早電燈のつく頃となつて居りました。(大正十四、十二、二四)